# 医科歯科連携で患者さんに役立つ標語募集

## 医科歯科連携推進キャンペーン

医科歯科連携を進めるための標語を皆さまから広く募集することになりました。例えば、「ちょっと待て　処方の前に　歯科受診」これは骨粗しょう症におけるビスフォスフォネート製剤などの処方を意識したものですが、その他にも糖尿病、誤嚥性肺炎、周術期、栄養など、患者さんのために医科歯科のスムーズな連携をはかることは、高度化、専門化が進む医療において、今後ますます重要となってきています。

楽しい、面白い、あるいはちょっぴりエスプリの効いたシニカルなものまで、皆さまの作った標語で医科歯科連携を進めてまいりましょう。

○応募資格／どなたでも応募いただけます。
※1人につき標語は3点まで

○締め切り／**2017年11月8日(水)** [イイハデー]

**賞品**

★最優秀賞　1点
…図書券10,000円分

★優秀賞　3点
…図書券3,000円分

★佳作　10点
…図書券1,000円分

**副賞**

入選された方全員に『福祉マップ第9版』(定価1,900円)を1冊プレゼント!!

詳細・応募方法は同封の案内チラシをご覧ください。

**主催・お問い合わせ　石川県保険医協会**

9人が参加し、開催された（9月12日・保険医協会会議室）

## キホンのキ・ゼミナール「ワクチンと免疫③」

# ワクチンによってできること

理事　濱田　久（かほく市・歯科）

### これまでの復習

9月12日（火）保険医協会会議室にて、金沢大学医学部小児科の谷内江昭宏教授を講師にお招きして、キホンのキ・ゼミナールが開催された。今回は「ワクチンと免疫」の第3回である。講演内容は（1）これまでの復習（2）ワクチンによってできること（3）ワクチンQ＆Aに分かれた。

ほとんどの感染症は、重篤な合併症を示すことなく治癒し、免疫が獲得されるが、なかには後遺症を残したり、まれに致死的な経過をたどる場合があり、ワクチンが必要となる。一般的に、病原体に対し獲得される免疫には、抗体、キラーT細胞、ヘルパーT細胞という3つの要素がある。抗体は、ウイルス抗原や細菌毒素に結合して中和したり、細菌に結合して白血球の貪食を促すオプソニン化に働く。キラーT細胞は、ウイルス感染細胞に細胞死をもたらし、ヘルパーT細胞はサイトカイン産生により、キラーT細胞や抗体を産生するB細胞の働きを助け、周囲に炎症を起こす。

ワクチンには2種類あり、生ワクチンはキラーT細胞、ヘルパーT細胞、抗体産生の3つ全てを誘導するが、不活化ワクチンはヘルパーT細胞、抗体産生のみで、キラーT細胞の活性化は誘導されず、抗体産生の誘導も弱いため、接種を繰り返し十分な抗体価を獲得する必要がある。予防接種では、これら非病原性のワクチン抗原を用いることにより、あらかじめIgG抗体やキラーT細胞を誘導し、免疫の記憶として蓄える。これにより初感染の際に起こる強い生体反応や、合併症を回避することができ、再感染のときと同じように、ほとんど無症状で感染は経過するとされる。また、ワクチンの接種間隔は、前回のワクチン接種（生ワクチン、不活化）、感染症、ガンマグロブリン製剤などにより異なるが、接種最適期間を示したもので、接種禁忌期間ではない。

### 問われるワクチン戦略

ワクチン接種の免疫能モデルを考えてみる。感染防御レベルのウイルス抗体価を得るために、初回接種を繰り返すことが必要となる場合がある。追加接種はその後の自然感染と同様に、抗体価を上昇させ（ブースター効果）、病原体に対する親和性（avidity）を高める。集団における中途半端な予防接種は、感染流行の減少により成人における感受性者（未感染者）を増加させ、既感染者の獲得免疫能を次第に低下させる。グローバル化と高齢化が進む現代では、EPIを進めるなどのグローバルな視点や、再感染時に必要な免疫能を維持するための生涯の複数回接種など、ワクチン戦略が問われているとのことだった。

最後に会場からいくつか質問があった。インフルエンザ予防接種や、虫歯ワクチン?、生ワクチン・不活化とウイルス血症についてもコメントをいただいたが、赤ちゃんに対し複数種のワクチンを現場で混ぜて単回投与で済ませようという行為は、予想できないリスクを赤ちゃんに背負わせることになる、というのにはハッとさせられた。

次回の開催は来年1月30日（火）で、これまでの復習と質問への回答という内容である。質問のある先生は11月中に事務局に連絡していただきたい。

当日、谷内江昭宏先生よりご提供いただいた資料は、保険医協会ホームページより閲覧可能です。なお、「ワクチンと免疫」第4回は2018年1月30日(火)午後7時半より開催します。

**▶保険医協会ホームページ**
http://www.ishikawahokeni.jp/

**▶キホンのキ・ゼミナール「ワクチンと免疫④」**
と　き　2018年1月30日(火)
午後7時半～午後9時
ところ　保険医協会会議室

## 石川保険医新聞

# 2018年新年号 原稿募集

**募集テーマ**

## 地元ファンクラブ

『石川保険医新聞』2018年新年号の原稿募集テーマは「地元ファンクラブ」です。

石川県のサッカー、野球、バスケットチームなどを応援している、地元楽団のファンだ、地元出身力士のここが良い！など、石川県のチームや選手・人物を応援している皆さまの原稿をぜひお寄せください。（編集部）

**原稿の送り方**

- 字数は800字以内（厳守）
- 原稿締め切りは12月8日（金）正午・必着
- 原稿送付先
  - ・メールアドレス：iskw_nagaura@doc-net.or.jp
  - ・FAX番号：076（231）5156
  - ・住所：〒920-0902 石川県金沢市尾張町2-8-23 太陽生命金沢ビル8階